

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・1219 NO60

校長 伊波喜一

人の目が 気になるわたし 分かるけど 比べるならば 自分の歩み
比べても仕方がないと分かっている、人はつい自分と他人とを
比べてしまいます。長い目で見れば大した差はないのに、小さな違
いが気になり、固執してしまいがちです。人と比べるというこの性
向はヒトの本性に根差したもののだけに、容易に拭い去ることが出来
ません。 Dさんは物を売る営業の最前線にいます。口下手で上が
り症で、パフォーマンスも地味です。入社したての頃、同期入社の
同僚達が眩しいくらい輝いて見えました。(自分もあのように能弁
になりたい!)。Dさんは一念発起し、話し方レッスンに通ったり、
自己啓発セミナーに通ったりします。ただ、そのことが直接、営業
の成績には結びつきませんでした。 ある時、年配の顧客から助言
がありました。「Dさんには、聞く力がある。だから、(相談してみ
ようかな)、という気になる。あなたのその良いところを、伸ばし
ていけばいいと思うよ」。 その一言で、Dさんはもやもやしてい
た気分が吹っ切れます。 誰しも、その人なりの良さを持っています。
比べるのは、自身の昨日と今日の歩みではないでしょうか。